

平成29年度富士見市国民健康保険特別会計 (事業勘定) 予算 (概要)

1 予算概要

(1) 予算編成概要

平成29年度当初予算は、引き続き被保険者数は減少傾向にあるが、医療費の伸びを見込み、保険給付費、共同事業拠出金において増額を見込んだ。これにより、前年度予算総額と比べ増額の予算編成となった。

(2) 予算規模

平成29年度国民健康保険特別会計(事業勘定)当初予算額は、130億6,928万9千円となり、前年度当初予算額に比べ6億9,165万2千円の増(5.59%)となっている。これは、主に保険給付費の増額が大きな要因である。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 国民健康保険税

一人当たりの調定額は、横ばいであるが、被保険者数の減少により、前年度より8,799万8千円減(△3.82%)の22億1,410万3千円を見込んでいる。

(2) 国庫支出金

国庫支出金では、療養給付費等について定率(32%)で交付される国庫負担金の療養給付費等負担金が、医療費の増に伴い増額となった。また、国庫補助金の財政調整交付金は、平成28年度の対象事業と過去の決算の実績額等を考慮し算出したことにより増額となった。これらのことなどから、前年度より、4億5,022万9千円増(21.04%)の25億8,983万2千円を見込んだ。

(3) 療養給付費交付金

平成26年度で退職者医療制度が廃止されたことにより、退職被保者の新規適用がなくなり人数が減少していくことから、6,831万3千円減(△40.79%)の9,917万5千円を見込んだ。

(4) 前期高齢者交付金

前期高齢者（65歳から74歳までの被保険者）にかかる医療費について、国民健康保険、被用者保険間で財政調整が行われ、加入率が高い国民健康保険はこの調整金を受け取るしくみとなっている。当年度の概算交付金額が減となったため、前年度より6,117万1千円減（△2.06%）の29億880万2千円を見込んだ。

(5) 県支出金

高額医療費共同事業に係る県の負担分及び特定健康診査事業に係る県の負担分並びに県財政調整交付金があり、一般被保険者の医療費等に充てられる。本年度は、1億2,981万7千円増（24.73%）の6億5,478万2千円を見込んだ。

(6) 共同事業交付金

高額医療費共同事業と保険財政共同安定化事業の交付金であり、保険者の財政運営の不安定を緩和することを目的としているもので、県内の全市町村保険者を対象としている。連合会の試算値を基に、前年度より2億2,274万6千円増（7.68%）の31億2,205万2千円を見込んだ。

(7) 繰入金

一般会計からの繰入金は、保険給付費の増及び共同事業拠出金等の増により、法定外分で前年度（8億5,508万7千円）より1億192万9千円増の、9億5,701万6千円を、また法定内分では、保険基盤安定繰入金が、前年度（3億1,479万1千円）より186万9千円減の、3億1,292万2千円となり、総合計で前年度（12億9,828万円）より1億681万6千円増（8.23%）の14億509万6千円を見込んだ。

3 歳出予算の主な特徴

(1) 総務費

国保広域化に伴うシステム修正委託及びペイジー口座振替受付業務委託等の増により、前年度より788万2千円増（14.52%）の6,216万8千円を見込んだ。

(2) 保険給付費

被保険者数は減少するが、一人当たりの医療費は増加傾向にあるため、総額としては増額となっている。5億8,245万5千円増（8.17%）の77億733万円を見込んだ。

(3) 後期高齢者支援金等

後期高齢者支援金については、後期高齢者の増加に伴い、一人当たり負担額は増加傾向にあるが、被保険者数の減少が大きく影響し、前年度より6,450万円減（△4.26%）の14億5,031万9千円を見込んだ。

(4) 共同事業拠出金

高額医療費共同事業、保険財政共同安定化事業に要する費用に充てるため、国民健康保険団体連合会へ納付する拠出金（県内全ての市町村国保保険者が埼玉県国民健康保険団体連合会に拠出する）。前年度、県内の多くの保険者で医療費が大きく伸びたことを踏まえた拠出額であり、前年度より1億6,752万1千円増（5.78%）の30億6,494万円を見込んだ。